

本屋でんすけ 2016.Mar.

# にゃわら版

やんわり月刊。

東京国際  
文芸フェスティバル  
レポート!!



No.17

## 東京国際文芸フェスティバルレポート!!

3/2~3/6を中心に東京のあちこちで  
(実は横浜や東北や京都などでも)  
行われていた文芸フェス  
今回海外文学の「カ」の字もわからない  
超ビギナー状態で参加したイベントは4つ  
せっかくだから海外文学と海外招待作家  
が登壇するイベントに気合いて「予約!!(笑)  
作家さん達の話も面白かったけど、普段  
影武者のような翻訳家さん達の「話か」  
とても興味深かった!!  
百聞は一見に如かず  
封で行ったことない人は来年、せむ!!



## 2/28 世界文学と愉快な仲間たち

東京大学の先生方や世界からやって来た  
日本よりも日本を知ってる若手研究者さん達が  
オススの本や、どうやら今研究している言語と  
出会ったの話をしてくれよ!!



### 第1部 日本から世界へ

話し手は「読むもよわらない本を書いている作者に興味  
を持たない」という柳原孝敏さん(ペンアメリカ)、「フェスの  
本屋で買った本を辞書を引きながら読んでいたら、  
世界がなかった」と阿部賢一さん(フェス)、「世界の縮図の  
ような不可思議な話を通して政治や宗教をみる」と  
話す亀田真澄さん(クロアチア・セルビア)、「自分を救って  
くれたこのイラストはあり文学でした」と奈倉有里さん(ロシア)

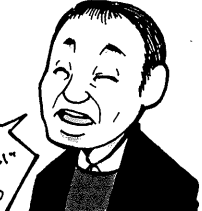
### 第2部 世界から日本へ

話し手はアメリカ、カザフスタン、ウクライナ、韓国、中国、  
ポーランドから来た若手研究者達(日本語の5人ほど)  
名古屋外国語大学の講師でもあるモリソン・ライアンさんは  
谷崎潤一郎の本を読んで「最高だ」と大げさな褒め言葉!!  
と感動してらっしゃる「和人の愛」のナオミのような美しくも  
悪い女に会ったことない!!とカレブ・アール・ピアズ2年探  
したけれど見つからなかった!!と話には会場爆笑!!今は  
谷崎と真逆な感じもする石川準の研究をしるまで!!

先生方も研究者も最初のキッカケは「わからなかった」  
こと、という方が多かった!!その本を読んで、「わからな  
い」と思った時、「もう読まない」とはせず、そこに興味を  
持って「じゃああれも読んでみるか」と思えるかどうかで  
何倍も楽しくなる!!と「なあのおすすの研究者!!

柳原先生は「ほく、先生か」  
読んだ文芸誌読みました!!  
面白くてわからなかった(笑)

ありかという  
セシル・ド・ミランは「あ、  
わかりましたね、でもその  
不思議なワケはよくしりません!!



## 3/2 東京国際文芸フェスティバルオープニング

第1部 アメリカの国民的詩人と3カ国の  
学生詩人によるホスト・リーディング

エリザベス・アレクサンダー × ホリエトリスラム

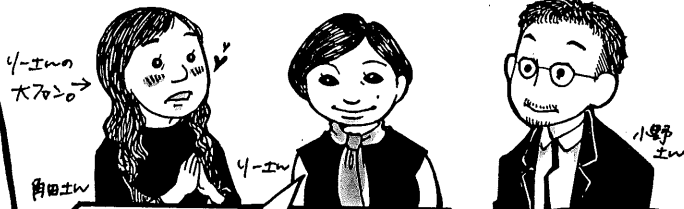
第2部 私から離れて生まれる物語  
私の中から生まれる物語

イ・ユン・リ × 角田光代 × 小野正嗣(モデレーター)

第3部 キテレツのチカラ

フィクションにしか伝えられないもの  
セス・フリード × 西加奈子 × 藤井光(モデレーター)

短編小説の名手といわれるイ・ユン・リさんの  
小野さんの「短編と長編、どちらを書くのが自分に合  
つか?」の質問に「どっちも好きで私としては長編は  
結婚、短編は恋愛、で感じが違いますの合う時間、  
レポートを知ることと同じです。(作品を)世界に送り出して  
路上や市場で「出会うんです」と答えていました!!  
角田さんにもイ・ユンさんも新聞の小説の記事をヒントにその  
人生を土足で下げて書くことがある!!と!!



同時通訳のスピーカー機械

自分しか知らない人物を書いて  
いるから「書くこと」は孤独です。  
だから誰かとつなぐ「つなぐ」  
他の作家の作品に語りかける  
ように書いてます

モチベーションの  
燃料について  
聞きたいこと  
は...!!

沼野充義さんの「我々は文学の力で人々を結ぶ」  
つくる国境なき文芸者団なんて!!というステキな言葉で  
はじまった文芸フェス お客様もいらはりの会場でした!!

